



2020年3月期決算説明資料

株式会社フレアス
東証マザーズ：7062

- **2020年3月期実績**
- **2021年3月期見通し**
- **今後の事業戦略と方針**
- **経営体制の変更とSDGs**
- **Appendix**



2020年3月期実績



コストの見直しにより、通期業績は修正計画比やや上振れ

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、介護施設への訪問の一時休止が発生
サービス提供回数の減少等により、3月単月売上高は約60百万円の減収
- 一方で、各事業所の管理体制の見直しによる経営効率を意識した体制の強化を図り、
マッサージ師・相談員採用に伴う採用費は計画比21百万円減少、フランチャイズ事業本格展
開に伴う人件費や広告宣伝費が7百万円減少し、営業利益は74百万円となり、計画上振れ

今期も引き続き、フランチャイズ事業を強化

- 後期高齢者の増加に備え、事業展開のスピードを加速するため、
M & Aなども活用し、フランチャイズを本格展開
- 今期はM & Aによるフランチャイズ事業取得により、加盟店が増加（2020年6月1日予定）

2020年3月期決算の概要

- 売上高は6.8%増収となったが、営業利益は73.1%減益
- 採用コスト及びマッサージ師の不足による業務委託費等が増加
 広告費、販管人件費等のフランチャイズ事業本格展開のための先行費用が増加

(百万円)	2019/3期	2020/3期		対前期比	対直近 予想比
	実績	直近予想	実績		
売上高	3,711	3,981	3,962	+6.8%	▲0.5%
売上原価	2,073	2,234	2,220	+7.1%	▲0.6%
売上総利益	1,638	1,746	1,742	+6.3%	▲0.3%
販管費	1,362	1,746	1,667	+22.4%	▲4.5%
営業利益	276	0	74	▲73.1%	—
営業外収益	55	45	50	▲7.5%	+12.4%
営業外費用	18	4	5	▲69.9%	+34.3%
経常利益	313	41	119	▲61.8%	+185.4%
当期純利益	176	6	56	▲67.8%	+752.2%
1株当たり当期純利益	88.16	2.87	24.48	▲72.2%	+753.0%
売上高総利益率	44.1%	43.9%	44.0%	▲0.1pt	+0.1pt
営業利益率	7.4%	0%	1.9%	▲5.5pt	+1.9pt
経常利益率	8.4%	1.1%	3.0%	▲5.4pt	+1.9pt

- マッサージ事業の売上高は新型コロナウイルス感染症問題の影響により、計画を下回るが、増収を確保
- マッサージ事業の営業利益は販管費の見直しにより、計画を上回った

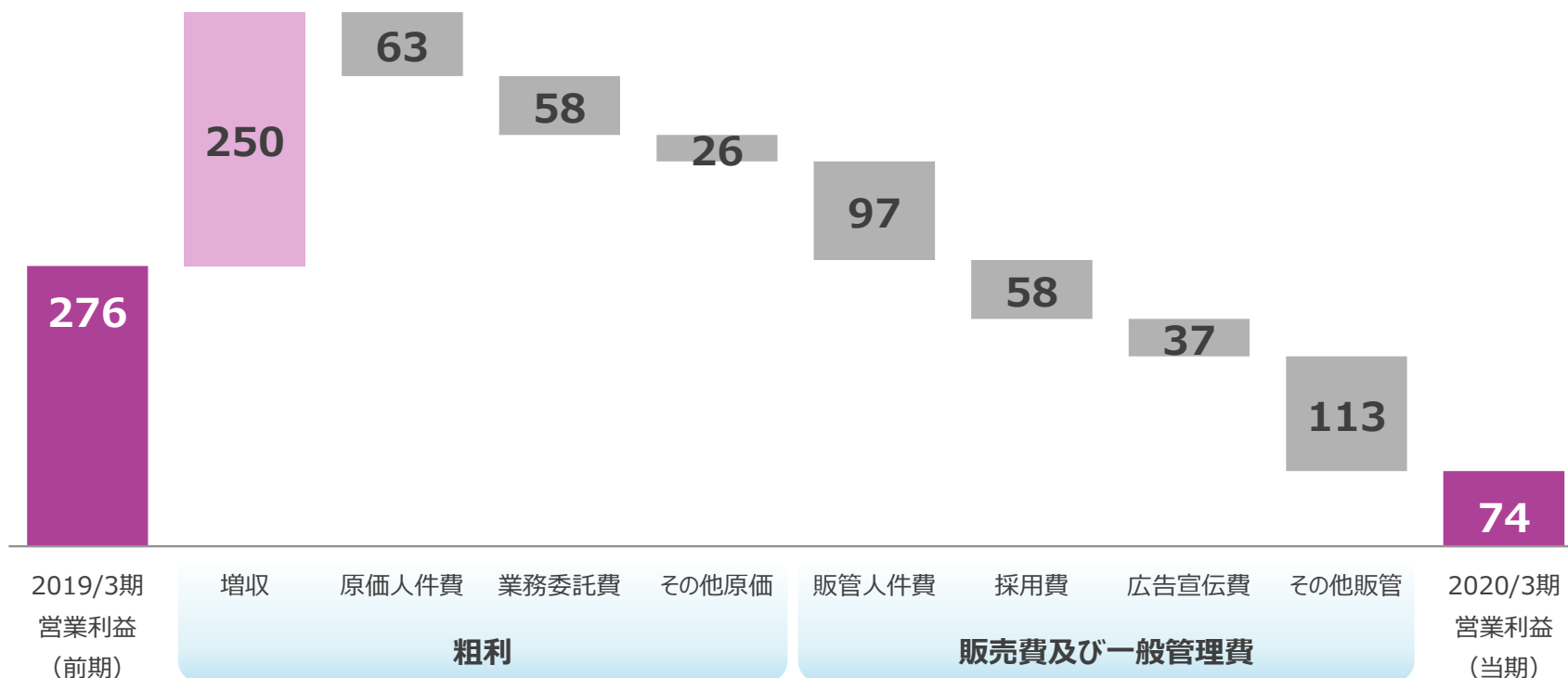
(百万円)	2019/3期	2020/3期		対前期比	対直近予想比
	実績	直近予想	実績		
売上高	3,711	3,981	3,962	+6.8%	▲0.5%
マッサージ	3,403	3,684	3,653	+7.3%	▲0.9%
（内直営）	3,383	3,604	3,574	+5.7%	▲0.8%
（内FC）	20	79	78	+288.9%	▲2.0%
その他	307	296	309	+0.5%	+4.4%
営業利益	276	0	74	▲73.1%	—
マッサージ	829	708	757	▲8.7%	+7.0%
その他	36	19	31	▲14.4%	+59.8%
調整	▲590	▲727	▲715	—	—
レセプト数（件）	8,958	10,544	8,530	▲428件	▲2,014件
利用回数（回）	721,154	740,229	739,281	+18,127回	▲948回
拠点数(FC含む)	96	114	113	+17店舗	▲1店舗

※利用回数は鍼灸サービスに係る回数を除く

2020年3月期営業利益増減要因（前期比）

- 施術回数増加により売上は増収
- マッサージ師や相談員採用のために人件費と採用費等が増加
- フランチャイズ事業本格展開のための先行費用として、販管人件費や広告宣伝費等が増加

(百万円)



- 人材開発部の設置により、採用人数を増やした一方、採用コストは上期比49百万円削減
- 11月よりマッサージ師の登録制度を開始、登録者数は大幅に増加

2020年3月期第2四半期からの施策と結果

① 人材開発部の設置 (2019年7月12日リリース)

結果

上期と比較して、下期は採用コストを大幅に圧縮
採用は順調に進捗

② 研修センター開設 (2019年11月8日リリース)

結果

フランチャイズオーナー初期研修の場として
大いに活用

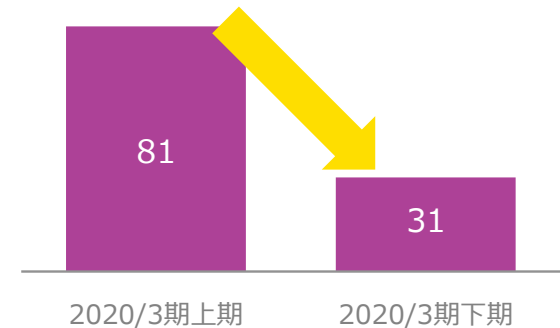
③ マッサージ師の登録制度開始 (2019年11月15日リリース)

結果

本資料作成時点で登録者数は264名
今後、登録者の人材活用に向けて体制を整備

採用費推移

(百万円)



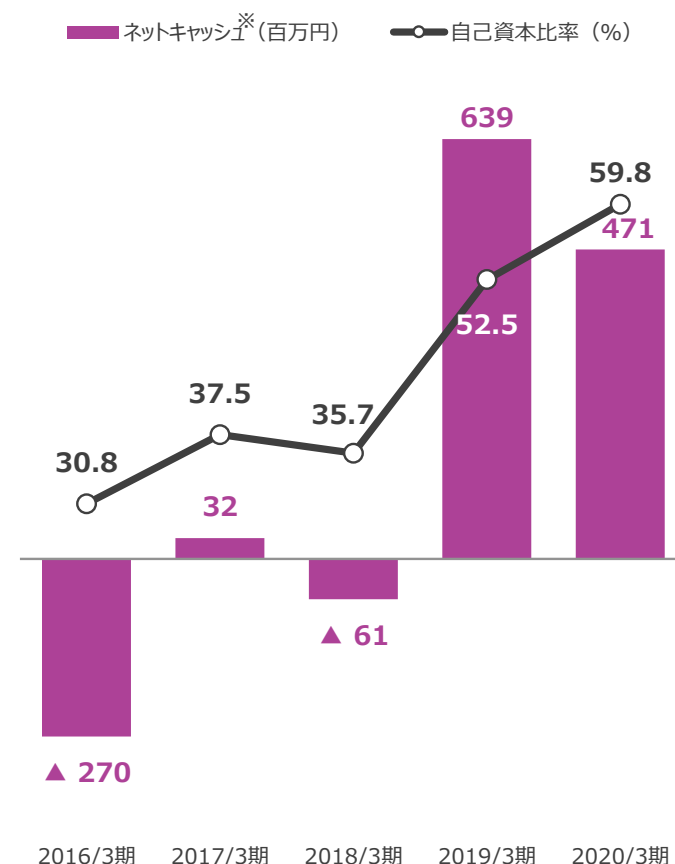
研修センター



バランスシートの状況

- 自己資本比率は約60%と健全性を維持
- 子会社株式取得のための手付金の支払い等で現預金が210百万円減少
- 3月から6月にかけて680百万円の長期借入（5年間）を予定、厚いキャッシュポジションへ

(百万円)	2019/3期	2020/3期	対前期比
流動資産	2,363	2,354	▲9
現預金	1,365	1,155	▲210
売掛金	976	995	+19
固定資産	127	150	+22
有形固定資産	24	20	▲4
無形固定資産	32	49	+16
資産合計	2,491	2,505	+13
負債	1,184	1,007	▲176
有利子負債	726	683	▲42
純資産	1,307	1,497	+190
負債純資産合計	2,491	2,505	+13

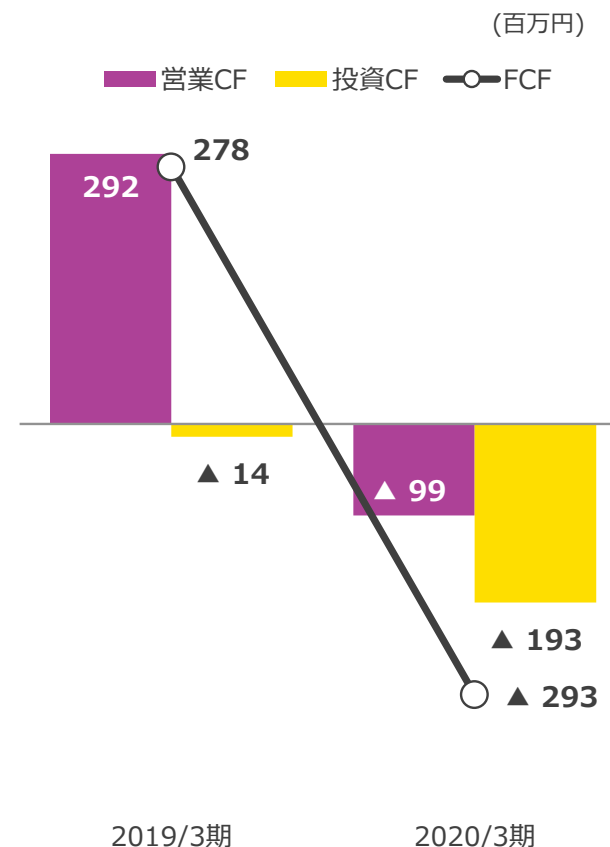


※ネットキャッシュ (ネットキャッシュ=現預金-有利子負債)

キャッシュフローの状況

- フランチャイズへの先行投資や法人税等支払額の増加等により営業CFは▲99百万円
- 子会社株式取得のための手付金の支払い等により、投資CFは▲193百万円

(百万円)	2019/3期	2020/3期	対前期比
営業CF	292	▲99	▲392
税金等調整前当期純利益	314	119	▲194
売上債権の増減	▲97	▲19	78
法人税等支払額	19	▲201	▲221
投資CF	▲14	▲193	▲179
FCF*	278	▲293	▲571
財務CF	168	82	▲85
有利子負債増減	▲254	▲42	+211
株式発行による収入	425	133	▲291
現金及び現金同等物の期末残高	1,358	1,147	▲210



※FCF (フリーキャッシュフロー = 営業キャッシュフロー + 投資キャッシュフロー)



2021年3月期見通し



- 当社は、国家資格保持者（あん摩マッサージ指圧師）のみ施術が許される医業類似行為である高付加価値マッサージサービスを提供しております。
- 緊急事態宣言下でも、鍼灸・マッサージは「社会生活を維持するうえで必要な施設」として休業要請対象外となっており（東京都）、当社サービスを必要とする利用者様のために、ケアマネージャーと相談のうえ、医師の指示にもとづきサービスを継続しております。
- 施術師は、感染防止指針に則り、器具の衛生管理、マスク着用、手洗い・手指消毒・体温測定を行ったうえで施術を実施しております。また、利用者も毎回体温を測定しており、発熱等の感染症状があれば、担当医、ケアマネージャー等へ迅速な連絡をとっております。

高付加価値マッサージ*

疼痛緩和

関節可動域拡大等



* 従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

- 多くの介護施設では外部者の施設への立ち入りを一時的に禁止するなどといった措置がとられており、2020年3月は、単月の見込売上高に対して、概算で約60百万円の減収影響が生じましたが、4月におきましても引き続き減収影響が生じております。
- 一方で、売上減少を受けて、新規採用の抑制や、施術に関わる業務委託の抑制などのコスト削減に努めるとともに、雇用調整助成金等の補助金活用などを推進しております。
- コストの圧縮を図ると同時に、3～4月で400百万円の長期借入を実施、また、5～6月には追加で280百万円の長期借入を予定しており、キャッシュを厚くしております。
- 新型コロナウイルス感染症の終息時期が不透明であり、現時点においては業績予想の合理的な算定が困難であることから、2021年3月期の業績予想は開示しておりません。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。
- 5月直近の環境として、一部地域では緊急事態宣言が解除され、それに伴って介護施設も一部再開されつつあります。

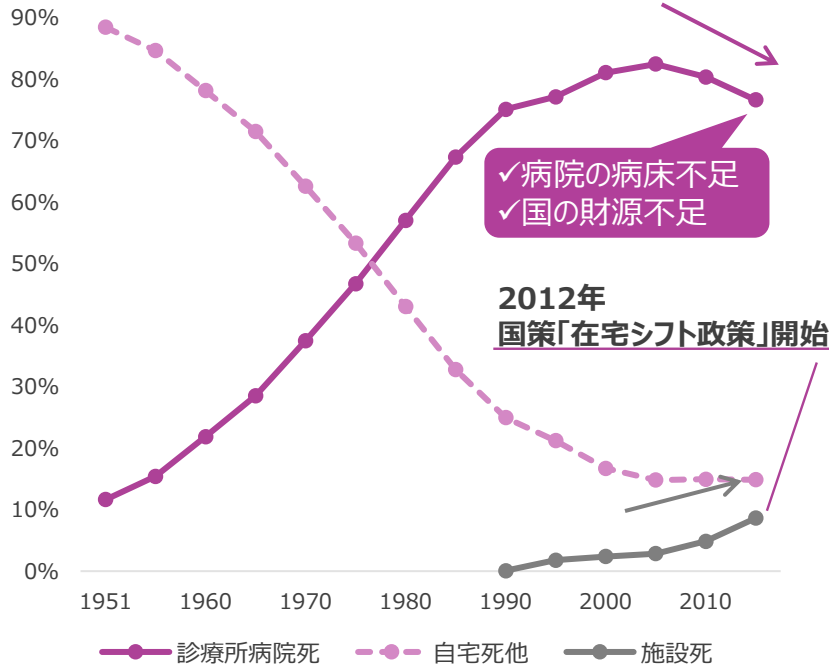


今後の事業戦略と方針



- 高齢者意識・社会保障・病床不足観測(2025年に約30万床不足*)から在宅ケア需要拡大
- 国策としても、地域包括ケアシステム**構想により「在宅シフト政策」を推進
- 「2025年問題」の解決企業として、当社はフランチャイズによりサービス提供エリアを拡大予定

死亡場所(構成比)の年次推移



会社理念と経営ビジョン

会社理念
人と人とのふれあいを大切にし、
社会貢献すると共に、
社員の物心の幸せを追求する



経営ビジョン
全国津々浦々に一人でも多くの方に
速やかにフレアスのサービスを提供し、
日本の在宅事情を明るくする。

より高い技能を基に利用者の満足度を高める
「高付加価値マッサージ」を、
国家資格者であるマッサージ師によって、
在宅訪問で提供するサービスカンパニー

出所：厚生労働省「平成27年人口動態統計（確定数）の概況」

* 出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料

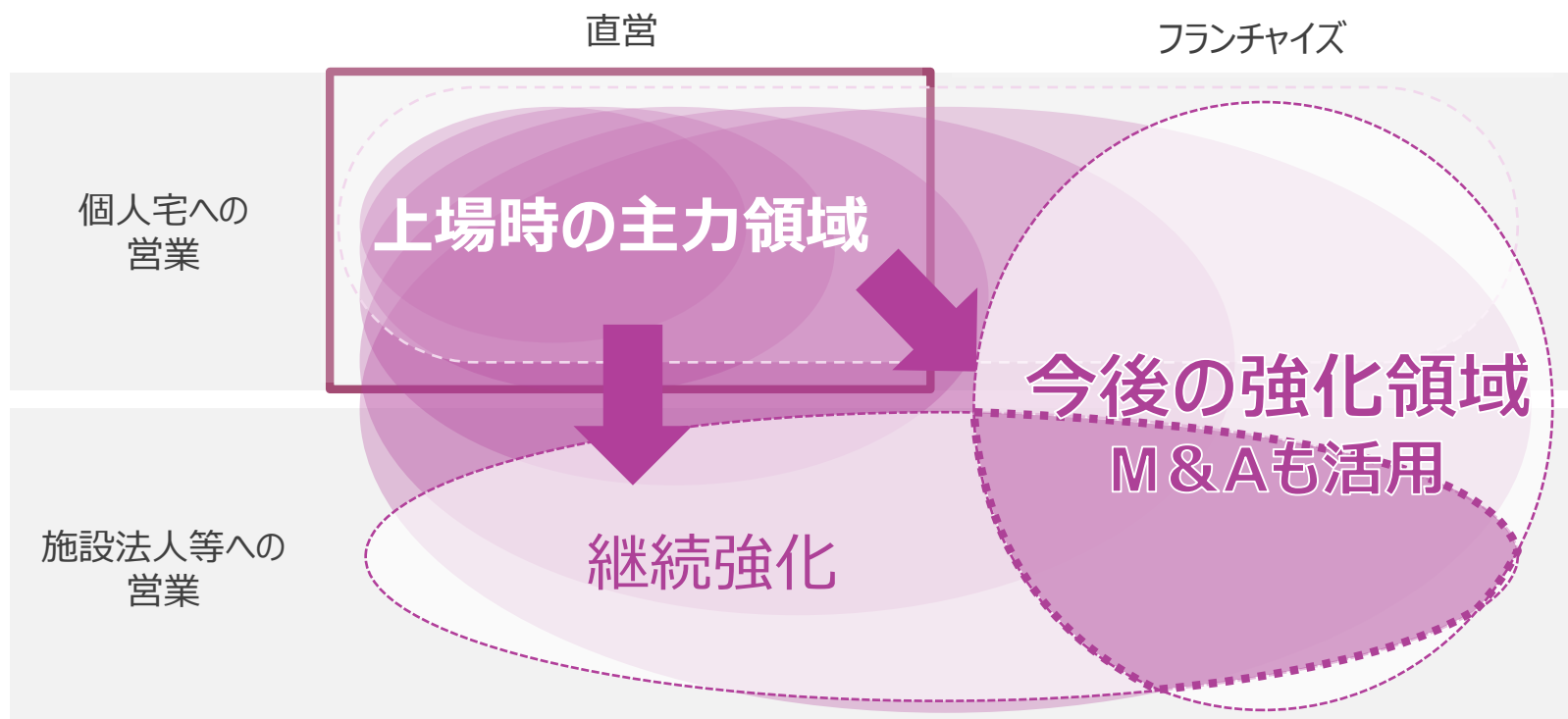
** 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができる包括的な地域支援・サービス提供体制

事業戦略・方針

- 法人営業の専門部署を設置し、在宅に加えて介護施設などへの営業を強化
- 「2025年問題」への対応のためフランチャイズを強化、フランチャイズ拠点の活用を加速
- 経営ビジョンの実現に向けて、M&Aなども活用し、更なる拠点数拡大を目指す

経営ビジョンの実現

全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかに
フレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。



フランチャイズ事業強化

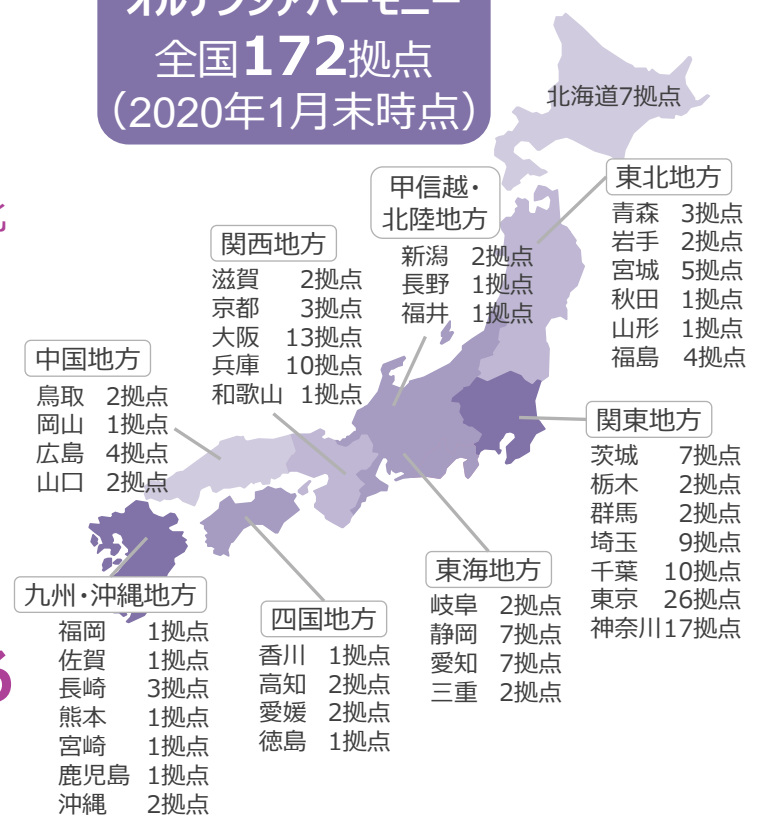
- (株) レイスヘルスケアから、訪問マッサージ治療院フランチャイズ事業を約 5 億円で買収予定
- レイスヘルスケアは在宅マッサージで全国172拠点 (2020年1月末時点) を運営管理
- 本件M & Aを通じて、サービス提供エリアを大きく拡充



株式取得
100%子会社化
(2020年6月1日予定)



オルテンシアハーモニー
全国172拠点
(2020年1月末時点)

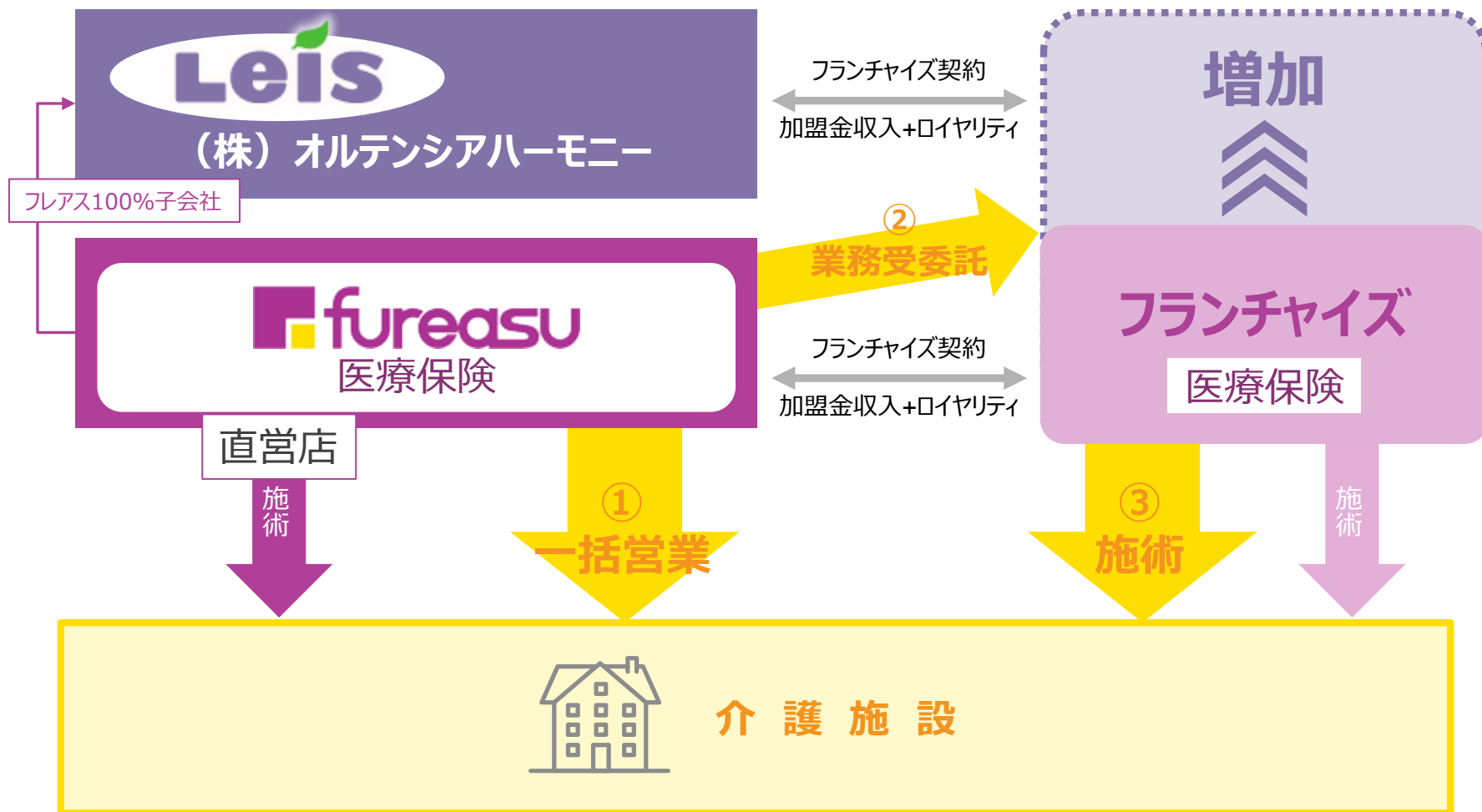


▶ 在宅マッサージ業界における
マーケットシェアのさらなる拡大を図る

*レイスヘルスケアの訪問マッサージ事業の19年3月期の売上高は236百万円、経常利益は18百万円

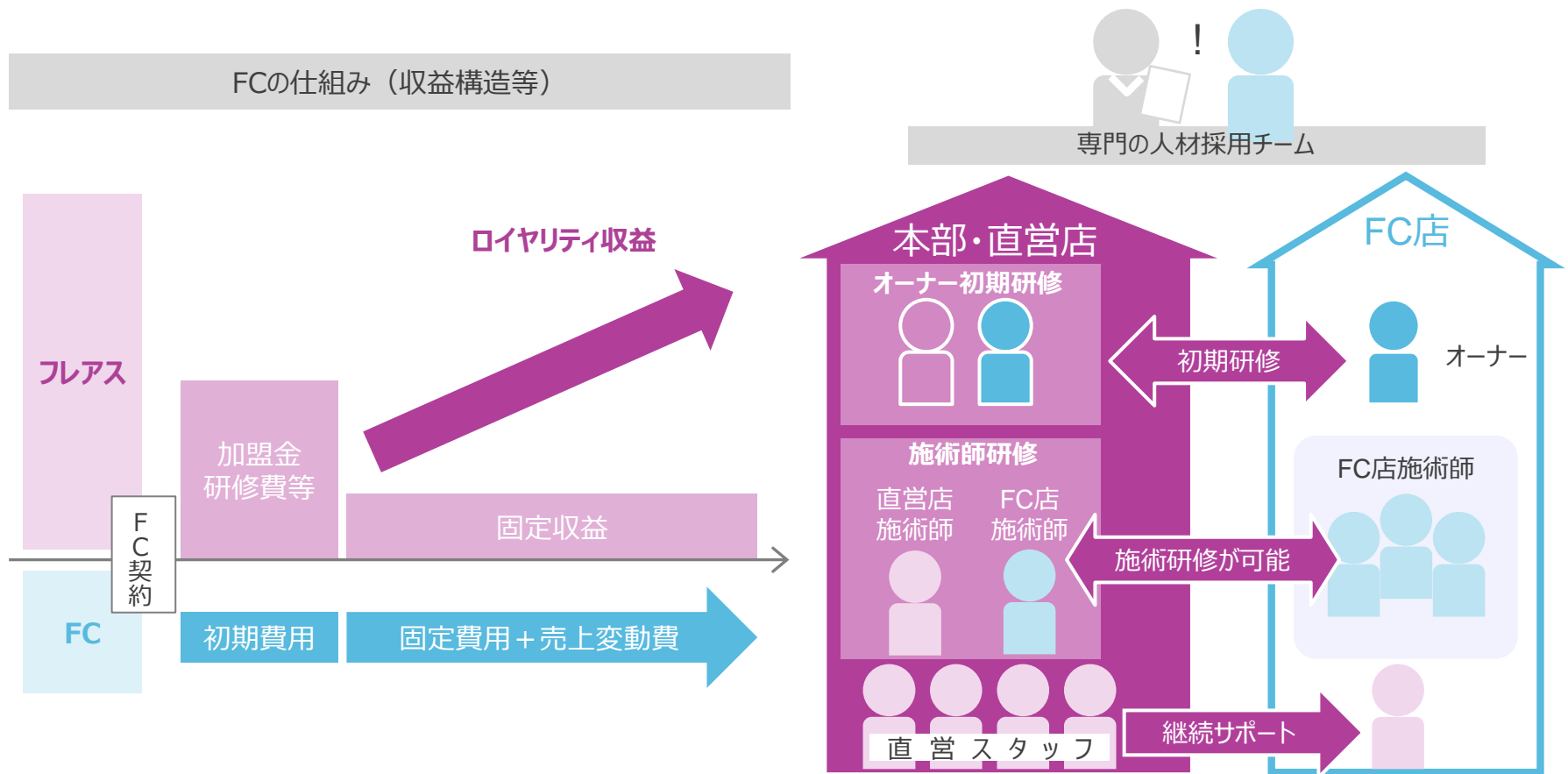
自社施設とフランチャイズ店とのシナジー

- 介護施設等への営業は当社相談員が一括で行い、自社拠点もしくは業務委託したフランチャイズ店のマッサージ師が施術
- M & Aによりフランチャイズ拠点が增多することで、複数の介護施設を持つ法人への提案が容易に



フランチャイズ事業の仕組み

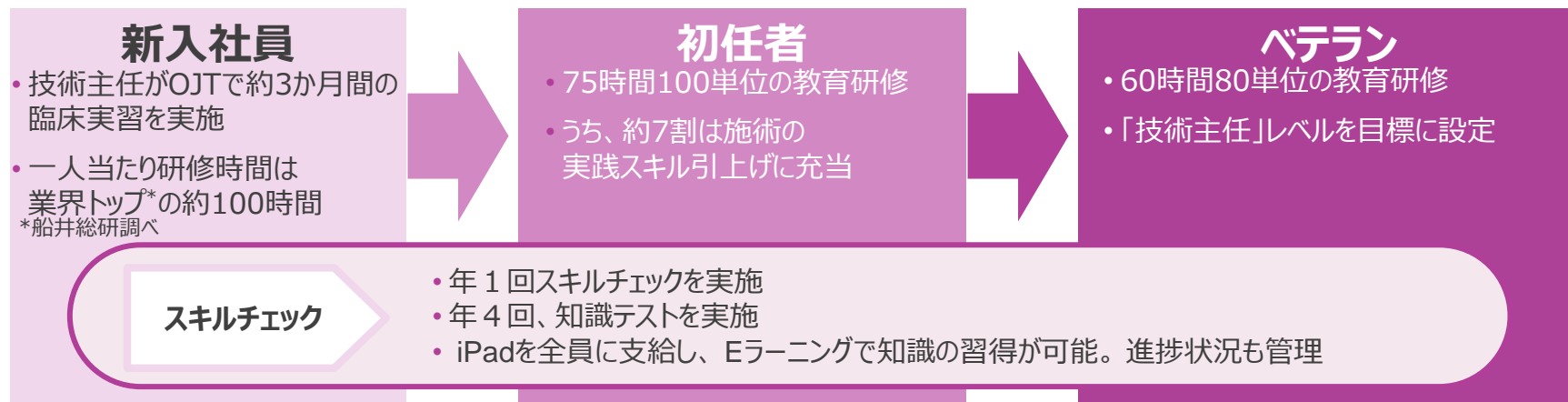
- 当社の人材採用チームがフランチャイズ加盟店のマッサージ師（施術師）の採用を支援
- フランチャイズ加盟オーナー初期研修に加え、フランチャイズ加盟店のマッサージ師も当社研修への参加が可能
- 当社直営店のスタッフが、近隣フランチャイズ加盟店をサポート、効率的な運営が可能



(参考) フレアスの教育制度 (高い技術品質維持)

- 高い技術品質の維持に向けて、正社員へのトレーニング研修義務付けで対応
- 当社が社員に義務付ける研修時間は業界団体が設ける基準を大きく上回る
- スキルチェック体制が確立しており、技術品質の維持が可能
- 高い技術を持つ直営店施術者がフランチャイズをサポート、フランチャイズ店の技術品質を維持

当社研修システム



業界の認定する「訪問マッサージ師」よりもはるかに多い研修時間を設定し、高いスキルの維持向上に注力

業界団体*による研修システム

「認定訪問マッサージ師」：22.5時間 (基礎講義10.5時間、実技講義12時間)の受講により5年間の認定証

(*)全日本鍼灸マッサージ師会、日本あん摩マッサージ指圧師会、等

- 「2025年問題」に備えて、フランチャイズ（FC）事業を本格展開しサービスエリアを拡充
- サービス提供空白地域や都心部を主体に、潜在需要の取り込みを図る

在宅マッサージの拠点数

96 拠点 (2019/3末) → **113** 拠点 (2020/3末) → **285**※ 拠点 (2020/6/1時点)

(内直営店 87拠点) (内直営店 85拠点) (内直営店 86拠点)
 (内フランチャイズ 9拠点) (内フランチャイズ 28拠点) (内フランチャイズ 199拠点)

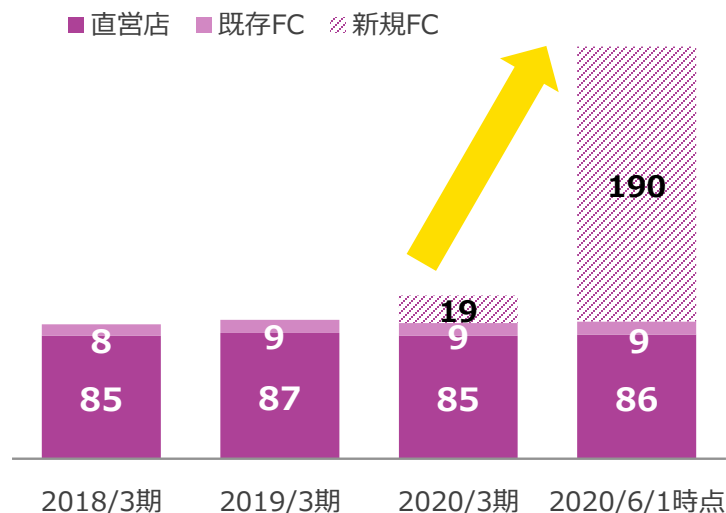
※2020/6/1時点の拠点数は、フレアスの拠点数に
 レイスヘルスケアの訪問マッサージ事業の
 2020年1月末時点の拠点数を単純合算したもの



- フレアスの認知度向上
- ケアマネジャーとの連携強化
- 施設法人への展開

潜在需要取り込みに向けて
 サービス提供エリアと、
 拠点数拡大ピッチを加速

2020/6/1時点
285拠点計画 ※
 (直営店86拠点、フランチャイズ199拠点)



- 営業の当社一本化と、直営店スタッフによるフランチャイズ店フォローアップでシナジーを創出
- M & Aも活用したフランチャイズの本格展開により成長スピードを加速

経営ビジョンの実現に向けて

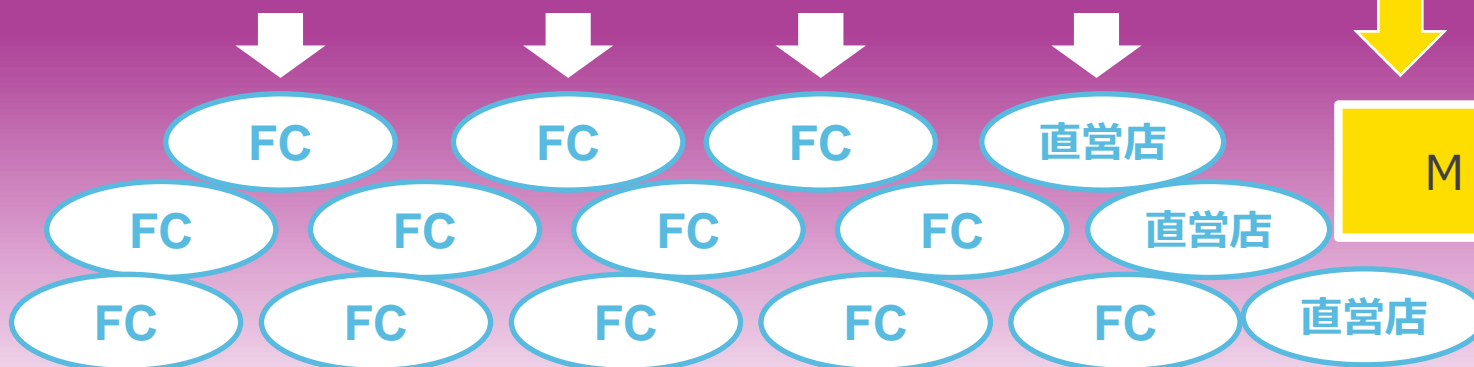
全国津々浦々に一人でも多くの方に速やかに

フレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。

在宅マッサージ **285** 拠点 ※

フランチャイズ増加

直営店増加



今後さらなる拡大を図る

※フレアスの2020年3月末の在宅マッサージ拠点数にレイスヘルスケアの訪問マッサージ事業の2020年1月末時点の拠点数を単純合算したものと



経営体制の変更とSDGs



経営効率の向上

- 経営と執行の分離を進め執行体制を強化し、経営の効率化及び意思決定の迅速化を実現
- 成長戦略に向けて事業基盤をより強固にすることで、さらなる企業価値の向上を目指す

経営体制の
変更予定

(2020年3月12日リリース)

経営

分離推進

執行

経営の効率化及び意思決定の迅速化

意思決定の迅速化

権限・責任の明確化


経営の効率化

執行役員
3名 → 5名

取締役
5名 → 3名
(うち社外取締役1名) (うち社外取締役1名)

- 経営ビジョンのもと、拠点数拡大のスピードを加速、医療難民の解消という社会課題解決に貢献
- 障がい者雇用比率23.7%（2020/3末）、盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、自立支援を促し、第一線で、戦力としての活躍する場を提供
- 従業員の女性比率42.1%（2020/3末）、性別・年齢に関わらず、誰もが活躍できる職場の提供

3 すべての人に健康と福祉を




3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

「全国津々浦々に 一人でも多くの方に 速やかにフレアスのサービスを提供し、日本の在宅事情を明るくする。」の経営ビジョンのもと、**質の高い在宅マッサージサービスを全国に提供することが急務であると考え、FC展開やM&Aを活用し、店舗展開及び社員教育を急ピッチですすめている。**

※病床は2025年に30万床不足すると予想されており、医療難民の解消が社会課題となっている
(出所：厚生労働省「平成29年6月30日第11回医療計画の見直し等に関する検討会」資料より)

8 働きがいも経済成長も




8. 働きがいも経済成長も

すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク(働きがいのある人間らしい仕事)を推進する

障がい者の自立支援
盲学校へのリクルーティングを積極的に行い、
当社の障がい者雇用比率 23.7%（2020/3末）

※民間企業の法定雇用率2.2%
従業員が一定数以上の規模の事業主は、従業員に占める身体障害者・知的障害者・精神障害者の割合を「法定雇用率」以上にする義務があります。（障害者雇用促進法43条第1項）

5 ジェンダー平等を實現しよう

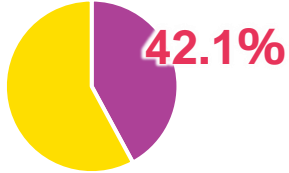


5. ジェンダー平等を實現しよう

ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る

女性の活躍
女性が働きやすい環境
女性活躍のための取り組みなど

■ 従業員比率
(2020年3月末)



42.1%

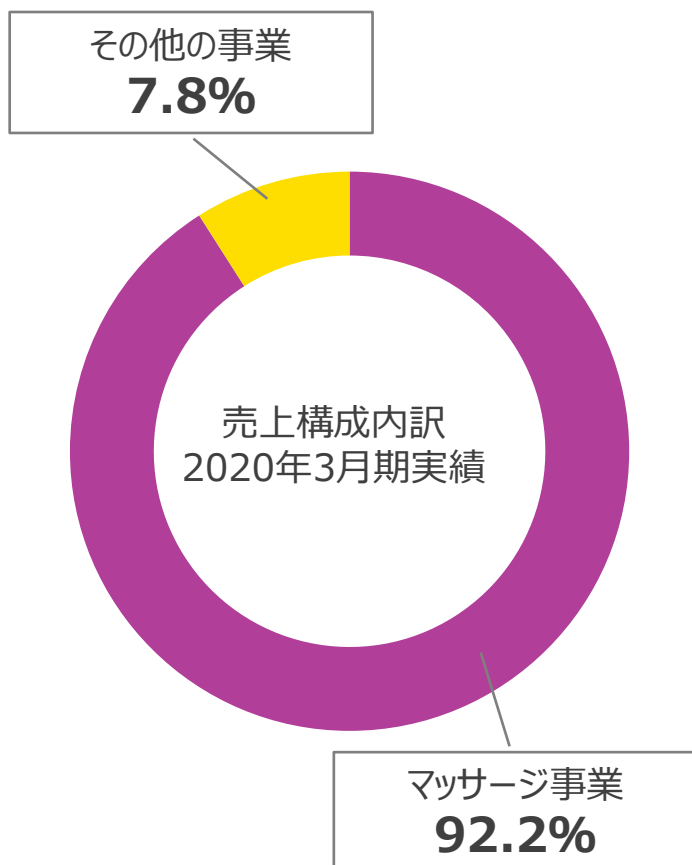
■ 女性 ■ 男性



APPENDIX



- 当社事業の9割超はマッサージ事業。活動困難者(介助なしで通院が困難な方 以下同)が対象。医師の指示・同意に基づいてサービスを提供
- その他の事業で訪問看護及び介護などを実施



マッサージ事業

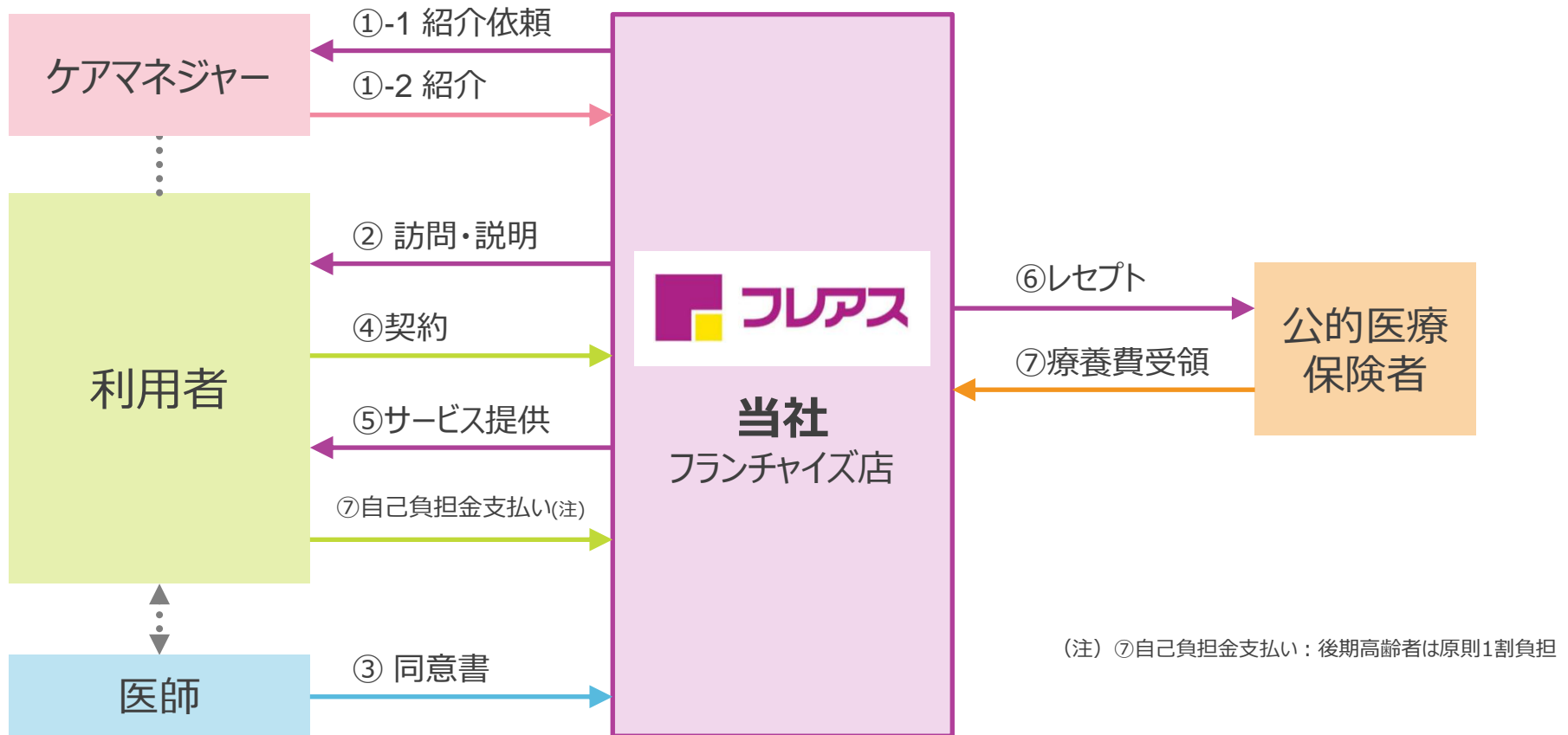
- 在宅療養者を対象に、医師の指示・同意に基づいて、訪問マッサージ(医業類似行為)を提供
 - ・ 事業所数：113拠点 (FC含む/2020年3月現在)
 - ・ 屋号：「フレアス在宅マッサージ」
- その他、マッサージ星野リゾートと提携、「界」などでのマッサージサービスや、フランチャイジーからのロイヤリティ収入など

その他の事業

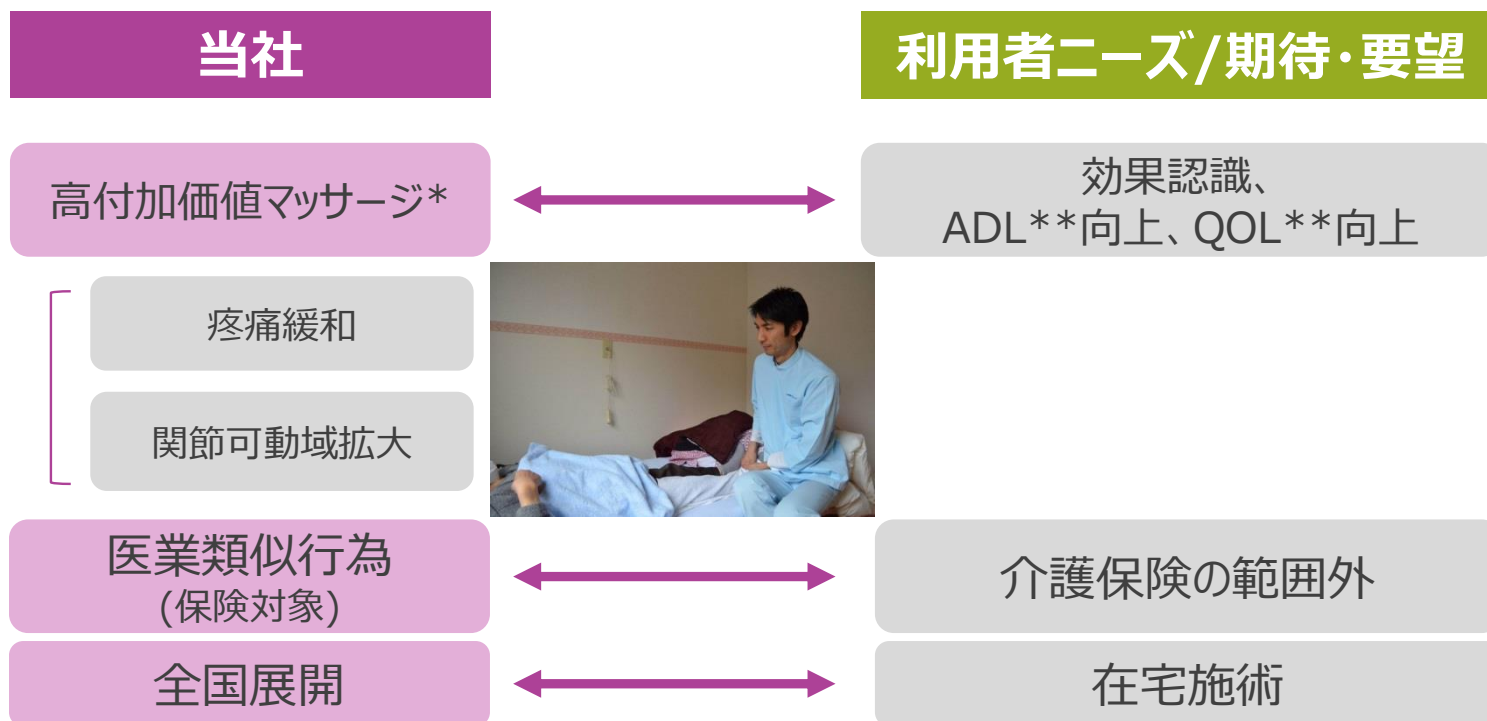
- 患者宅や高齢者施設等への訪問看護事業が主体
- 訪問看護・介護ステーションを運営(6拠点)。高齢や疾病・負傷・障害による在宅療養患者に対し、医師の指示・同意に基づいて、看護を提供
- 「理学療法士」による訪問リハビリテーションも展開

ビジネスフロー（医療保険適用型マッサージ事業）

- ケアマネジャーからの紹介を受け、医師の同意の下、訪問マッサージを施術
- 利用者より「療養費」支給申請の委任を受け、公的医療保険者にレセプトを申請・請求



- マッサージに対する利用者の期待・要望（効果不明、在宅ニーズ）などに対応
- 特に、高い技能（高付加価値マッサージ）を維持・向上する仕組みを構築(体制を確立)
- マッサージ師を正社員として人材確保し、少子高齢化で増加する潜在利用者を着実に獲得
- 2020年3月期2Qからフランチャイズ事業を本格展開、成長スピードの加速を目指す



* 従来のマッサージに比べ、より高い技能を基に利用者の満足度を高める施術と定義

**ADL; Activity of Daily Life、QOL; Quality of Life



訪問マッサージ市場動向



療養費（医療保険対象）の推移

- マッサージ療養費は介護保険スタートに伴うケアマネージャーが呼び水となって浸透が加速。過去16年で約7倍に急成長
- 要支援・要介護認定者は現在641万人超。過去17年で約2.5倍に拡大

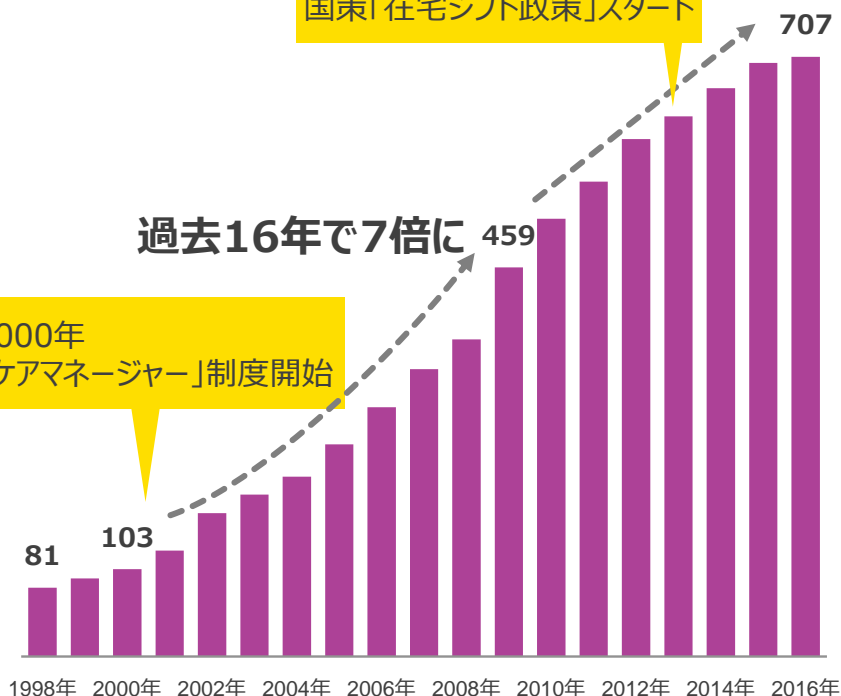
マッサージ療養費の推移

(億円)

2012年
国策「在宅シフト政策」スタート

過去16年で7倍に

2000年
「ケアマネージャー」制度開始

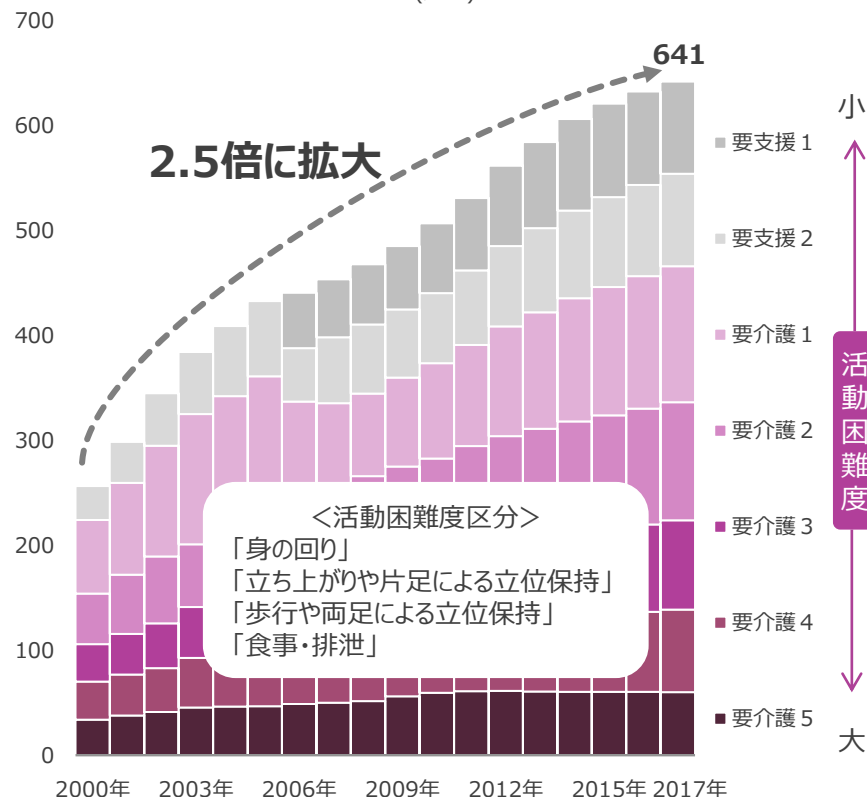


出所：厚生労働省保健局医療課及び厚生労働省保健局調査課

要支援・要介護認定者数推移

(万人)

2.5倍に拡大

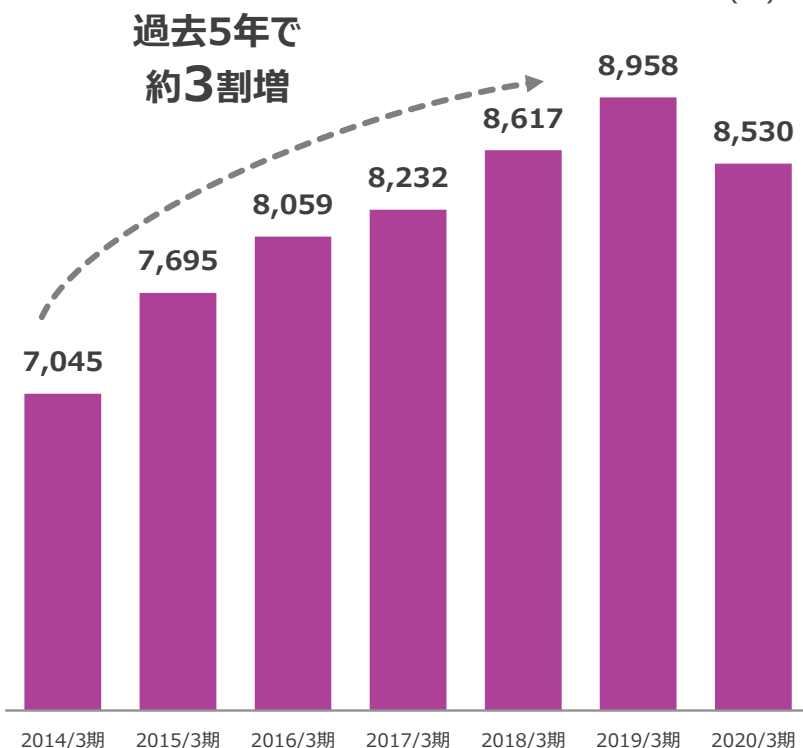


出所：厚生労働省介護保険事業状況報告

- 利用者数は**過去5年で約3割増加（拠点は1.9倍に増加）**
- 利用者はほとんど医療保険法対象者で活動困難者（要支援者、要介護者）
- 社員であるマッサージ師が全国の拠点より利用者宅等を訪問し、施術

レセプト数の推移

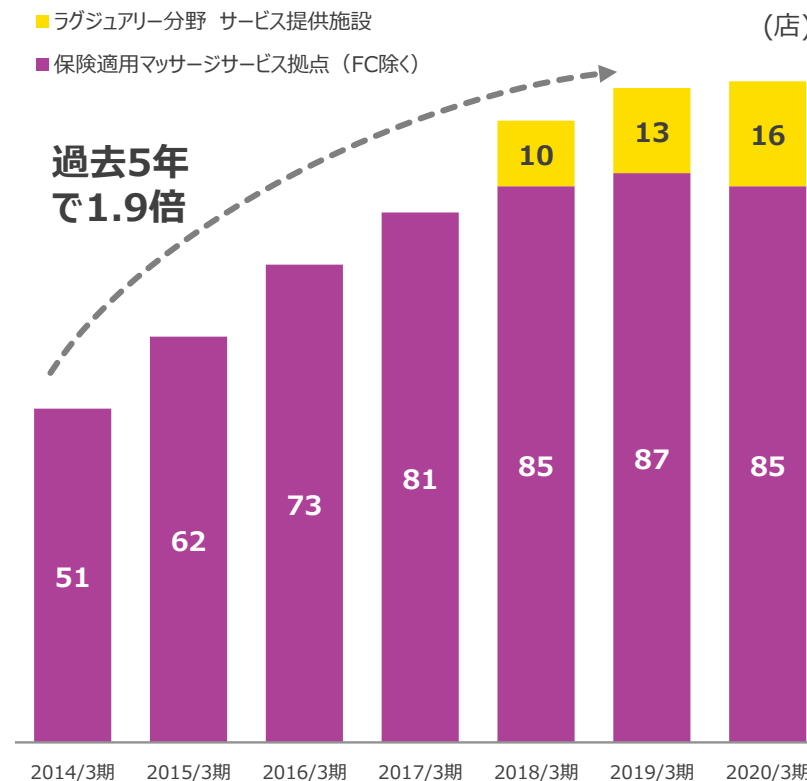
(件)



※レセプト数は、マッサージと鍼灸の合計数を記載しております。

拠点展開の推移

(店)



社名	株式会社フレアス Fureasu Co.,Ltd.			
代表者	代表取締役社長 澤登 拓			
創業年月	2000年7月（設立：2002年4月）			
上場	2019年3月			
本店所在地	山梨県中巨摩郡昭和町西条1514番地			
本社所在地	東京都渋谷区初台2丁目5-8西新宿豊国ビル2F			
資本金	289,638（千円）〔2020年3月31日現在〕			
役員構成	代表取締役社長	澤登 拓	常勤監査役(社外)	赤池 雅司
	取締役	川上 詠昌	監査役(社外)	日浦 正貴
	取締役	奈良 香澄	監査役(社外)	古賀 望
	取締役	中野 剛		
	取締役(社外)	関根 竜哉		
				〔2020年3月31日現在〕
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージ事業 ・その他の事業 			
売上規模	3,962,577（千円）〔2020年3月期〕			
従業員数	672名〔2020年3月31日現在〕			
拠点	119拠点(在宅マッサージ113*、訪問看護5、訪問介護1)〔2020年3月31日現在〕			
総資産	2,505,483（千円）〔2020年3月31日現在〕			

* 上記事業数及び事業所のある都道府県には、FC事業者により運営されている28事業所を含む

年月	内容
2000年7月	山梨県南巨摩郡増穂町にふれあい住宅マッサージを創業し、訪問マッサージ事業開始
2002年4月	訪問マッサージ事業を事業目的とし、山梨県甲府市に「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を設立
2005年4月	「有限会社ふれあい在宅マッサージ」を「株式会社ふれあい在宅マッサージ」に組織変更
2011年1月	ダイヤモンド社より特別賞受賞
3月	東京都港区に東京本部を開設
4月	「株式会社フレアス」に商号変更
12月	株式会社セイジョンより訪問看護事業の営業を譲り受け、訪問看護事業を開始
2012年8月	山梨県甲府市にて訪問歯科診療サポート事業を開始
2014年6月	株式会社ピーアンドエヌより訪問看護事業の営業譲受
11月	やまなし産業大賞 受賞
2016年6月	本店所在地を山梨県中巨摩郡昭和町西条に移転
6月	東京本部の名称を東京本社に変更
2017年4月	株式会社星野リゾートと業務委託契約を締結し、ホテルブランド「界」でのマッサージサービス提供を開始
2018年3月	星野リゾート「リゾナーレ八ヶ岳」でのオイルマッサージ(VINO SPA)サービス提供を開始
2019年1月	個人情報保護に関する第三者認証制度JAPHICマーク及びJAPHICメディカルマークを認定取得
2019年3月	東証マザーズ上場
2019年7月	保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズの本格展開を開始
2020年6月	株式会社レイスヘルスケアより新設分割される株式会社オルテンシアハーモニーの株式を取得し子会社化を予定

決算年月		2014年3月	2015年3月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月
売上高	(千円)	2,335,817	2,594,076	2,744,444	2,900,404	3,284,979	3,711,638	3,962,577
経常利益	(千円)	88,908	61,848	88,468	194,400	193,759	313,003	119,700
当期純利益	(千円)	2,169	36,820	52,727	177,869	109,912	176,563	56,879
資本金	(千円)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	222,750	289,638
発行済株式総数	(株)	1,000	1,000	1,000	1,000	100,000	2,250,000	2,328,600
純資産額	(千円)	327,764	364,584	417,312	595,181	705,094	1,307,158	1,497,815
総資産額	(千円)	1,165,691	1,134,022	1,353,270	1,588,572	1,973,936	2,491,623	2,505,483
1株当たり純資産額	(円)	327,764.25	364,584.60	417,312.53	297.59	352.55	580.96	643.23
1株当たり当期純利益	(円)	2,169.64	36,820.36	52,727.93	88.93	54.96	88.16	24.48
自己資本比率	(%)	28.12	32.15	30.84	37.47	35.72	52.46	59.8
自己資本利益率	(%)	0.66	10.64	13.49	35.13	16.91	17.55	4.1
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				184,096	▲39,574	292,433	▲99,729
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				116,238	▲57,067	▲14,278	▲193,330
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)				▲68,193	379,442	168,071	82,128
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)				629,738	912,537	1,358,764	1,147,832
従業員数 (内、平均臨時雇用者数)	(名)	491 (-)	541 (-)	534 (-)	582 (173)	615 (167)	617 (178)	672 (180)

* 2018年2月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を実施、また、2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を実施。
2017年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり純利益金額を計算

マッサージとは

- 国家資格保持者（あん摩マッサージ指圧師）のみ施術が許される**医業類似行為**
- 医療上、マッサージを必要とする症例について医療保険が適用

施術

治療院等の専門の施術所の他、自宅や施設への訪問による施術
保険適用の場合は、医師の同意書(指示書)が必要

マッサージ師

指圧院や病院などの法人に勤務。あるいは、個人事業主として開業



無資格行為（整体・カイロプラクティック・足のツボ療法・リフレクソロジー・リラクゼーションなど）
「マッサージ師」資格は不要である一方、医業類似行為は許されず

医療及び医業類似行為等の一覧

	病院	接骨院	鍼灸院	マッサージ院	理学療法	整体
施術者	医師	柔道整復師	鍼師・灸師	按摩マッサージ師	理学療法士	整体師
資格 (根拠法)	国家資格 (医師法)	国家資格 (柔道整復師法)	国家資格 (あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律)		国家資格 (理学療法士及び作業療法士法)	民間資格 (一)
行為	医療	医業類似行為 (施術)	医業類似行為 (施術)		医療 (リハビリ)	無資格行為 (矯正)
療養費*	42.1兆円	3,636億円	407億円	707億円	-	-

*2016年度実績。「あはき療養費に関する報告書の各項目の状況について」厚生労働省保健局調査課

見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、
将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

＜お問い合わせ先＞
株式会社フレアス
03-6632-9210
ir@fureasu.jp